

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道433号 <small>かけとよひら</small> 加計豊平バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県山県郡加計町丁川 至：広島県山県郡豊平町戸谷	延長	6.9 km		
事業概要 一般国道433号は、広島県大竹市から広島県三次市に至る延長10.8kmの幹線道路である。 加計豊平バイパスは、交通隘路の解消及び交通の安全確保を目的とした、延長6.9kmの2車線道路である。					
S61年度事業化	都市計画決定なし	S61年度用地着手	H2年度工事着手		
全体事業費	約11.6億円	事業進捗率	79%	供用済延長	2.6km
計画交通量	1,000台/日				
感度分析の結果	(事業全体) 1.1 (残事業) 4.8	総費用：(残事業)/(事業全体) 13/152億円 (事業費：8/142億円) (維持管理費：5/10億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 62/162億円 (走行時間短縮便益：62/153億円) (走行費用減少便益：0/8億円) (交通事故減少便益：0/1億円)	基準年：平成15年	
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.2(交通量+10%) B/C=1.0(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.1(交通量+10%) B/C=1.1(交通量-10%)					
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築(現道における大型車のすれ違い困難区間L=6.85kmを解消する) ・個性ある地域の形成(主要な観光地(豊平どんぐり村)へのアクセス向上) 他8項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 加計豊平バイパスは、中国縦貫自動車道戸河内インターへのアクセス道路であるとともに、地域の日常生活を担う重要な幹線道路であることから、早期整備を求められている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 豊平どんぐり村等の新規立地された観光施設へのアクセス性を向上させるため、交通の安全確保が要望されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 急峻な地形であることから、大部分が橋梁等の構造物、長大法面等の大規模土工事であり、施工に長期間を要しているが、現在までに2.6kmを部分供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得は概成しており、平成16年度には1.7kmを部分供用予定であり、引き続き工事を推進し早期供用に努める。					
施設の構造や工法の変更等 盛土材料として、同路線で施工中の433号川戸拡幅の発生土を流用する等、コスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					
一般国道433号 加計豊平バイパス L=6.9km 					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

